

新年、あけましておめでとうございます。

年始早々、大規模地震、航空機事故など日常ではありえない事態に見舞われお亡くなりになられた方にお悔み申し上げます。避難生活を余儀なくされている方々および関係者様にお見舞いと一日も早く日常が回復されますようお祈り申し上げます。

さて、仕事納め式で申し上げた2つの指摘について考えていました。

- ① 財政非常事態に陥った責任と謝罪については、発言者の当事者意識の欠落だと思えます。いかに、当事者意識を育むかが課題だと思えます。
- ② 仕事をしていない。挨拶をしない。については、相手方に伝わっていない、或いは届かないと言う事だと思えます。見せ方（発信の仕方）とホスピタリティだと思うので今後研究していく必要はあると思えます。  
一人ひとりが住民に信頼され親しまれる役場を目指していきたいと思えます。

仕事納め式で御礼申し上げたように、昨年一年間、様々な新しい取り組みにチャレンジして頂いたことに感謝しております。昨年、私のご挨拶を今、読み返してみて、その内容の希薄さに驚いています。それだけ、昨年一年間はプラスαの仕事をこなしてきたのだと思えます。感謝いたします。

本年でございますが、連携協定等の強化については、オマーン大使館、日本体育大学、やまなしMTB山守人、県立青洲高校、ヴァンフォーレ甲府を中心に更に協調発展できる方策を検討していきたいと思えます。

また、六郷インターチェンジ周辺整備事業、第36回神明の花火大会、地域産業再生を期すラウンドテーブル市川三郷、峡南地域観光振興、農業の高収益化、地域で支えあう生活支援体制整備事業、人口減少対策と子ども子育て応援体制の拡充、情操教育に繋がる行事の開催など新たな時代のまちづくりに向け有効な施策を展開していきたいと思えます。

ふるさと納税は、元日に、子育て医療無償化事業のためのクラウドファンディング型ふるさと納税が目標額の2000万円に達しました。正月早々、大変に目出たいことだと思えます。4日現在の達成率122%、554人、24,426,000円の納税額で88日/122日残してございます。大勢の皆さまに感謝申し上げます。

しかし、全体像は、現時点で苦戦を強いられています。昨年10月のルール改正への対応と農産物の供給が不安定、一時期の熱狂的なふるさと納税意欲が薄らいだこと、過当競争に陥っている商品も一部で見受けられ新たな工夫を必要とする時と感じます。常連のリンケージ人口階層の納税指向は、もはや選ぶ商品がない。商品目当てで訪れる方は過当競争に競り負けている。このような状況だと思えます。

今回、行う行財政改革では、歳出削減策については、「行財政改革推進計画」に示された事務事業、施設のあり方検討によるものです。歳入拡大策については、第3次総合計画等でお示しをして

まいります。一方、財政非常事態宣言以降、何か応援をしたいという団体や個人からの申し出が20を超えていて一部は定期的な会議を実施し具体計画に進展しているものもございます。

昨年には、アスクテクニカ様のネーミングライセンス契約。日医工山梨様他の企業版ふるさと納税、ヴァンフォーレ甲府によるふるさと納税PR動画等のご支援、他、ふるさと納税サイトのコメント欄にはご心配頂いている善意を頂戴してございます。日本体育大学の集団行動の公開練習実施、その他イベント等のご支援等いただいております。

現在検討している一つに、ふるさと納税について、過当競争に陥らないブルーオーシャン戦略、民間活力を活用した組織の設置などをご提案をいただいております。また、本町出身の芸術、映画などのクリエイターらでつくる「プロジェクトできることから」は、今月末、本町在住の雨宮庸介氏によるワークショップを先ず職員向けに開催いたしますので体験願いたいと思います。「プロジェクトできることから」は、現代アーティストたかくらかずき氏、雨宮庸介氏、イラストレータ村松祐樹氏、映画監督青柳拓氏でございます。それぞれのアイディアを持ち寄り、地域活性を導き出そうとする活動で、その皮切りとして雨宮庸介氏のワークショップ実施、町民に普及させようとするものです。

また、別に、「地方自治研究会りんどう」（仮称）日本体育大学、今村常務理事の御人脈で首都圏の企業経営者層を中心とした会議が定期的開催していますが回を重ねる度に参加者が増えております。今後は、具体的な事案が示されていくものと期待をしています。

このほか、オマーン大使館との交流からお付き合いが始まりました、都内外国人材派遣会社AGリクルート、ご当地アイドルフジサクラ塾がでございます。

AGリクルートのご提案では、外国人材との共生プラン、都内の親子を対象にしたツアーの企画、SNSを活用した地域情報発信などご提案をされており、フジサクラ塾からはご当地アイドルのイベントへの派遣もご協力いただけるとのことです。

「やまなしMTB山守人」との連携協定では、更なる具体的な事業へと展開されるよう大詰めの段階で、新たなステージへと進めてまいります。

オマーン大使、日本体育大学、青洲高校、ヴァンフォーレ甲府には、引き続き連携関係を強化し、新たに、市川團十郎白猿丈、松竹株式会社にも何らかの切っ掛けを見出していければと考えます。

甲辰（きのえたつ）、三碧木星の今年、私が町長就任3年目。ひと味ちがう1年としたいと思っております。ご理解ご協力賜りますようお願いいたします。

そして、最大の取り組みは、「行財政改革推進計画」です。何度も申し上げておりますが、これは、みんなで作った財政非常事態「突破」計画です。遅れは財政破綻に一步近づく。推進は明るい未来へ一步近づく。令和6年度予算編成においてもこのことを根底に理論形成していただきたいと存じます。令和6年が、市川三郷町再興の突破元年となるよう引き続き一丸となった推進体制をお願いしたいと存じます。